

まちぐるみの防災体制

町内会へ加入し近所の人たちで助け合う

- ・ 阪神淡路大震災や東日本大震災では、ご近所同士が助け合うことで多くの人命が救われました。
- ・ いざというときに、頼りになるのはご近所です。みんなで町内会（自治会）に加入しましょう。
- ・ 地域の絆があなたの命を守ります。



いざというときに地域のだれもが安全に避難できるように、日頃から地域での協力・支援の方法を考えておきましょう。

①地域の危険性を把握する

- ・ 地域の危険箇所や防災上の問題点について、地域で話し合う機会をつくりましょう。
- ・ 地域の災害情報を共有できるように、防災地図を作っておきましょう。

②協力・支援体制を具体的に決めておく

- ・ 要支援者の住所、人数、状態などを把握しておきましょう。
- ・ 情報の伝え方、支援をする人、避難の方法などを決めておきましょう。

③防災訓練をやってみる

- ・ いざというときに、適切な行動ができるように、要支援者も参加できる防災訓練や防災学習会などを実施しましょう。
- ・ 地域の行事にあわせたり、時間帯や季節を変えたりするなど、楽しく参加できる工夫をしましょう。

避難行動要支援者への支援

避難行動要支援者とは、高齢や障がいなどによって災害発生時にひとりで避難することが難しい人のことです。地域で協力して、近所の高齢者、障がいのある方などの安否確認、避難所への移動を支援しましょう。

高齢者

複数の人で避難しましょう。声をかけて、その人にあつたサポートをしましょう。



車イスを利用している人

階段を上がる時は前向きに、下がる時は後ろ向きにして移動します。3人で協力して行いましょう。



目の不自由な人

まず「お手伝いしましょうか?」と声をかけましょう。杖をお持ちの人をサポートするときは、ひじあたりに軽く触れ、半歩前をゆっくり歩きます。



耳の不自由な人

話しかけるときは、身振り手振りや筆談を交えましょう。口の動きは普段の早さより、ゆっくりと大きくしましょう。



避難情報の入手先

災害の危険がある場合、必要と認められる地域に出雲市から避難情報を発表します。避難情報の入手先を確認し、停電しても情報を受け取れるように準備して起きましょう。

メール（携帯電話）	緊急速報メール：各携帯電話会社（NTTドコモ・ソフトバンク・au） いずも防災メール
出雲市ホームページ	http://www.city.izumo.shimane.jp
防災行政無線	屋外拡声子局（スピーカー・サイレン）、戸別受信局
広報車	市避難広報班、消防本部、消防団
有線放送	情報いずも、ひらたCATV、ご縁ネット
ケーブルテレビ	出雲ケーブルビジョン、ひらたCATV
ラジオ	NHK第1放送（AM 1296KHz）、BSS（AM 1431KHz）、 FM山陰（FM 77.4MHz）、エフエムいずも（FM 80.1MHz） ※「エフエムいずも」は、災害時等には市からの緊急情報を割り込み放送します。
出雲市利用 ソーシャルメディア（SNS）	Facebook（フェイスブック）、LINE（ライン）、Twitter（ツイッター）